

評価基準に基づく評価項目別の総合値

評価項目	配点	参加者別評価値		
		株式会社 Blossom Energy	株式会社 Nocnum	株式会社 Geolonia
1 新規性	125	105	91	—
<p>【革新性】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用した新しい商品・サービスのモデルの提案であり、広く市場獲得できる可能性を秘めていること。 日本/世界にとって初の取組となるような事業のビジョンを示せること。 	50	42	34	—
<p>【将来性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲット顧客像と課題は明確かつ妥当であること。 解決策が対象とする社会課題性・ニーズの具体的な市場規模を示せること。 	75	63	57	—
2 実現性	165	139	124	—
<p>【確実性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最初に購入してくれる1人目の顧客が想定できていること。 目標達成に必要、かつ、計測可能なKPIが設定され、期間内の成果創出をし得る内容であること。 開発/顧客の難易度を踏まえた、プロダクトの発展ステップが描かれていること。 	100	76	76	—
<p>【持続性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 検証期間において、本事業に集中して実施可能な財務状況であること。 今後の資金調達計画は明瞭であり、また具体的に進める手がかりを持っていること。 	65	63	48	—
3 成長性	150	120	102	—
<ul style="list-style-type: none"> 新たな市場の開拓に向けた、成長阻害要因となる法的制約や商慣習等の障壁が調査済みであること。 上記制約を突破する方法を追求していること。 プロダクト・サービスの実現に向けた推進力を保有し、必要な体制が明確であること。 	150	120	102	—
4 費用対効果	50	32	32	—
経費の内訳が明確であり、事業内容に見合った額であること	50	32	32	—
総合値（委員全員の評価値の合計）	500	396	349	提案 辞退

※ 別記様式第6号の1に添付すること。

- ※ 「評価項目」の「配点」欄には、あらかじめ公表した各評価項目の配点に委員数を乗じた数値を記載し、「参加者別評価値」欄には、各委員の評価値の合計値を記載すること。
- ※ 「総合値（委員全員の評価値の合計）」の「配点」欄には、配点の合計を記載し、「参加者別評価値」欄には、参加者別評価値の合計値を記載すること。